

はねっと 9

仙台市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

人との違い「魅力」と気づいて

爆編み爺 Coda(コーダ)さん

セーター、ストール、帽子、あみぐるみなど、様々な編み物の解説動画を発信しているのは、爆編み爺Coda(以下、Coda)さんです。年齢・性別・国籍を超えた多様な人たちと編み物の楽しさを共有しています。「女性がするもの」というイメージを持たれがちな編み物。Codaさんは「男のくせに編み物なんて!と言われても、今は恥ずかしくありません」と話します。自分らしく編み物を楽しむ姿を通じて伝えたいのは、「“決めつけ”に縛られて、自分だけの魅力を見失わないで」というメッセージです。背景には、ゲイ(男性同性愛者)であることを隠し続け、性別によるレッテルや、人との違いに苦悩してきた過去があります。



「同性愛」と言えば、辞書ですら「異常性欲」等の差別的な記述があった時代もありました。Codaさんは、人との違いが元で自身の性的指向まで暴かれるかもしれない恐怖から、様々なことを隠してきました。小学生の時から夢中になった編み物も、その一つです。社会人になってからは、「男は結婚して一人前」という価値観の中で、生きる場を失わないようウソの自分を演じてきました。正直な自分に唯一寄り添ってくれたのは、ひそかに続けた編み物をする時間。「自分でも、人と違うことを認めたくなかった。でも隠して良いことは無かった」と振り返ります。2019年、退職を機に決意したのは、少しでも自分に正直に生きることでした。変えていきたいのは、「女ならこうあるべき」「男がこれをしたらおかしい」という偏見だけではなく、人との違いを認めない社会です。「違いを認め合えば、どんな人にとっても生きやすくなる」。色とりどりの編み物に、未来への願いを込めます。



爆編み爺 Coda

編み物歴50年の経験を活かし、編み物の解説動画をはじめ、作曲したピアノの演奏動画、セクシュアルマイノリティに関する動画などをYouTubeで配信しています。



◀ Twitter



◀ YouTube





活動を始める一歩を応援します。

リサイクルで、ゆるやかに助け合う文化を育む「GIVE BOX」book cafe 火星の庭

青葉区本町にある「book cafe火星の庭」の店先には「GIVE BOX」と書かれたリング箱があります。中には、買ったけれど使わなかった、または、未だ使えるけれど必要なくなった物がぎっしり。貼紙には「自由な物々交換BOXです。ご自由に置いて、ご自由にお持ち帰りください」とあります。店主の前野久美子さんは、「GIVE BOXなら、物を“買って、使って、捨てる”という直線コースにカーブをつけて循環にまわすことができる。それに、誰かの役に立ちたいと思う人と困っている人を、物を介して橋渡しすることができるのでは」と話します。

きっかけは、2020年暮れ、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、仙台駅前に増えたホームレス状態の人たちを、目の当たりにしたことでした。前野さんは、友人たちと共にSNSなどで支援物資を募集し、ホームレス支援団体に届けることに。呼びかけから2週間、集まった物資は、2つの支援団体に自家用車いっぱい計5往復分になりました。前野さんは、困っている人を支援したいと思う人が大勢いることを実感。そんな時に、友人から聞いたのが「GIVE BOX」のことでした。「この方法なら、気軽に誰でも参加できる。日常の延長で、助け合いの空気が生まれるのでは」と、2021年1月にスタートさせました。

「これがモデルとなって、GIVE BOXを設置する人が増えたらいい」と前野さん。「もし、面白いと思ってくれたならGIVE BOXを利用してほしい。行動が、その人の意思表示になる」と話します。



▲ GIVE BOXの品物を見せてくれる前野さん



▲ 雨の日には店内にGIVE BOXを設置



ホームページ

book cafe 火星の庭

仙台市青葉区本町1-14-30-1F
Mail:kasei@cafe.email.ne.jp

営業時間：11:00～18:00
定休日：毎週火曜・水曜



サポセン蔵書から活動に役立つ書籍をご紹介します

こうだったのか NPOの広報

活動をPRしたいけれど、「なかなか伝わらない」「文章書くのが苦手」と困っていませんか？この本では、複雑な社会課題に取り組むNPOの活動を、多くの人に伝えるコツを紹介しています。例えば、団体を一言で表す紹介文のつくり方や、活動内容を順序だてて説明する方法などです。わかりやすく伝えるための「相手を意識した」広報を提案します。誰でも簡単にできる広報のポイントが詰まった一冊です。

著者：武永勉 発行者：牧里毎治 発行所：社会福祉法人大阪ボランティア協会 出版部



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 9月8日(水)、22日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。
ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者：特定非営利活動法人
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2021年9月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

